

令和8年度 第1回学校運営協議会議事録

さいたま市立針ヶ谷小学校

日時・場所[日時]令和8年6月12日(金)10:00～11:30 [場所]A棟2階会議室

1 次第

- (1)いじめ防止対策委員会
- (2)開会のことば
- (3)校長あいさつ
- (4)児童会活動について
- (5)学校運営協議委員の委嘱
- (6)委員自己紹介
- (7)会長・副会長選出
- (8)学校運営に関する基本的な方針について
 - ・学校経営全体計画(グランドデザイン)
 - ・学校自己評価システムシート(R8)
 - ・学校予算について(R8)
- (8)熟議
- (9)閉会の言葉

2 議事概要

- (1) いじめ防止対策委員会について
 - 本校のいじめ防止基本方針について
 - 生徒指導主任より、いじめ防止基本方針について説明があった。
 - ・いじめの未然防止、早期発見、早期対応について定めたものであり、学校ホームページに掲載している。
 - ・昨年度の方針を基本としながら、国及びさいたま市の方針を踏まえ、一部表現の見直しを行った。
 - ・「いじめられた児童」を「いじめを受けた児童」とするなどの表現の修正を行った。
 - ・今年度は児童の意見を反映し、児童会による「あいさつボランティア」や「ふわふわ言葉キャンペーン」などの取組を方針に位置付けた。
- (3)校長挨拶 校長
- (4)児童会活動について
 - ＜児童会(計画委員会)＞
 - ・「明るく笑顔で挨拶のバトンをつなげよう」をテーマに挨拶運動を実施している。
 - ・地域の方から学校生活に関する意見や要望を聞きたいとの提案があった。

＜栽培委員会＞

- ・校内で花やワスレナグサを育成している。
- ・校庭の桜の木の減少を受け、「地域と協力した桜の植樹」が提案された。

＜埼玉防災守りたい＞

- ・防災ヘルメット普及活動を実施している。
- ・普及率は約1割であり、価格面が課題となっている。
- ・今後、地域との連携も検討していく。

(5) 学校運営協議委員の委嘱

(6) 委員自己紹介

(7) 会長・副会長選出

(8) 学校運営に関する基本的な方針について

【学校教育目標】

『誰かの幸せのために自ら行動する』

【重点事項】

- ・探究的な学びの推進
- ・リフレクションと対話の充実
- ・学校農園(菌ちゃん農法)の推進
- ・子どもたちの幸福感の向上

【教職員のキャリア形成・働き方改革】

- ・量的な働き方改革と質的な働き方改革を両立させる。
- ・教職員の成長とやりがいにつながる職場づくりを進める。
- ・「笑顔と余裕、語り合いのある組織づくり」を推進する。
- ・「チーム学年」による組織的な支援体制を構築する。
- ・校内研修では対話を重視し、学び合いの充実を図る。

説明後、委員より学校運営の基本方針について承認を得た

- ・学校予算について
- ・児童数減少に伴い予算配当額が減少した。
- ・備品購入基準の変更に伴い備品費を縮減した。
- ・消耗品費及び校内環境整備等の委託費へ重点的に予算配分を行う。

説明後、委員より予算について承認を得た。

(9) 熟議

議題:「体験・コミュニケーション・共に伸びゆく」

グループ1

＜主な意見＞

- ・教科書で学ぶ内容と、大人が仕事とする「実学」の接続が必要(例:機械の油差し体験)。
- ・AIにはできない心を通わせる「双方向のコミュニケーション」を重視する。
- ・海外の小学生との交流や、農家から日本の未来を学ぶ体験など。

グループ2 ＜主な意見＞ ・学校農園を近隣の保育園にも貸し出し、植ええや収穫、雑草抜きを合同で行う。 ・桜だけでなくプラタナス等も含めた「地域の木」をシンボルとして地域全体で見守る。 ・地域側は「声をかけられるのを待っている」ため、学校から積極的に働きかける。
グループ3 ＜主な意見＞ ・小中・地域の合同挨拶運動をレギュラー化し、中学生が小学校に来て挨拶を行う。 ・大原中の広い敷地にある多様な植物(雑草に見える貴重な草木)の調査や名札付けを小学生と合同で行う。 ・登校班のない中学校の登校を、地域が自宅前で見守る仕組みの強化
グループ4 ＜主な意見＞ ・知らない大人へのハードルを下げるためのゴミ拾いや焼き芋大会、学校宿泊体験の実施。 ・「命の講演会」や「スマホ講座」を保護者だけでなく地域にも開放し、共通の話題を作る。 ・高齢者の買い物のお手伝いなど、子供が相手を思いやる気持ちを育てる活動。

上記意見を受け、「小・中・地域とともに、様々な体験、様々なコミュニケーションを行っていく」ことを全体の方針として確認した。

(10) 閉会の言葉

(その他) 事務連絡

次回開催予定

[日時] 令和8年11月4日(水) 午後から [場所] 会議室

第3回は令和9年1月20日(水) 午後から